

第9回岡谷小学校のあり方検討委員会 会議録（要旨）

1 日時

平成26年2月28日（金）午後7時～午後9時20分

2 場所

岡谷市保健センター

3 出席者

委員 原豪志委員、林裕一委員、宮崎勇委員、三村田卓委員、藤森真由美委員、林幸三委員、小林啓助委員、薩摩林忠美委員、沓掛貴芳委員、濱一平委員、武居崇委員、原史郎委員、八幡義雄委員、原山智委員、森本健一委員、荒深重徳委員、古本吉倫委員（名簿順）

計17名（欠席者：田中沙里委員、岩下貞保委員）

地質調査業者 ㈱長野技研

岡谷市・岡谷市教育委員会

草間吉幸教育委員長、古屋博康教育部長、河西稔建設水道部長、橋爪哲也教育担当参事、吉澤洋人教育総務課長、山岸徹企画課長、山本文明土木課長、三澤達也教育総務課主幹、高橋卓教育総務課主幹、清水亮教育総務課主査、小口和久教育総務課主査、宮坂洋平教育総務課主任

○会議次第

1 開会 午後7時

2 議事

（事務局から会議の成立報告。続いて、委員長から本日の会議の傍聴について、前回同様、分科会については非公開とし、全体会のみを公開とする旨を委員に諮った結果、異議なく承認された。）

<議事の内容>

- (1) 諸連絡
- (2) 分科会
- (3) 全体会(分科会の報告)
- (4) その他

(1) 諸連絡

【委員長】

事務局から諸連絡をお願いします。

【事務局】

（本日の会議の進め方について、前回同様、各分科会に分かれて議論を行い、その後全体

会で各分科会の報告を行うことを確認。)

【委員長】

委員さんの方で、何かご意見はありますか。

(なし)

分科会は今回が最終になりますので、次回に向けて内容をまとめながら議論していただきたいと思います。

それでは、各分科会に分かれて議論をお願いします。

(2) 分科会

(各分科会の会議録は別紙。)

(3) 全体会 (分科会の報告)

【委員長】

本日の分科会で出された意見等の報告をお願いいたします。

【事務局】

(各分科会で出された主な意見等の報告。)

<現地存続分科会>

現地存続するための3つの対策案のメリット・デメリットを一覧表にまとめて検討した。

「A案」は、全面的な地盤改良+抑止工及び抑制工による工法で、校舎を全面建替える案。

「B案」は、一部の地盤改良による工法で、校舎を一部建替える案。

「C案」は、北校舎がある比較的安定した地盤へ校舎を移築する案。

検討した結果、A案とB案は一旦校舎を解体撤去しなければならず、また建替え工事にかかる5~7年という長期間、児童が他の学校に移る必要があることがデメリットとしてあげられた。メリットとしては、校舎が耐震化されることで学習環境の改善が図られ、また軟弱地盤の改良により、変状原因が解消されることがあげられた。

またA~C案以外に、2人の委員からそれぞれ対策案が示されたため、その検証を行った。

1つの案は、B案に近いもので、メリットデメリットも近い。もう1つの案は、盛土を全て撤去して、建替えるというもの。この案は、A案・B案と同様のメリットデメリットが考えられる。これらの案を加えた対策工法の一覧を全体会に提出したいと考えている。

また、委員の一人から岡谷区民の要望ということで、区民の7割が「現地存続または岡谷区内への移転」を希望していることと、署名活動の状況についての話があった。

いずれにしても、メリットデメリットの主なものは、安全面、費用面、工事期間であり、今回の全体会では、対策工法の一覧を提出したいということでまとまった。

<移転分科会>

前回に引き続き、中央町駐車場・駅南敷地・成田公園の 3 箇所について、様々な観点から検討・評価を行った。検討した内容は、まず、前回の分科会において市有地面積だけで考えた場合に、どの程度の学校ができるのか検討したい、という話があったため、中央町駐車場および駅南敷地の市有地に、高層化した校舎と校庭を描いた資料をもとに検討した。次に、それぞれの移転場所を教育的な見地からより検討を行うために、文部科学省の「小学校施設整備指針」を照らし合わせながら検討した。検討した事項は、校地環境や周辺環境、校舎配置・構成、校舎の高層化について等。

移転分科会としては、本日の会議をもって検討が終了し、分科会での検討内容や出された意見等をまとめたものを全体会に示していきたい、ということでまとまった。

※「小学校施設整備指針」とは。

学校教育を進める上で必要な施設機能を確保するために、計画及び設計における留意事項を示したもの。地方公共団体等の学校設置者は、学校施設に計画及び設計にあたり、指針の関係留意事項に十分配慮する必要がある。

＜統合・分散分科会＞

まず、環境の変化による児童の不安に対するケアについて検討した。子ども達の不安やストレスを取り除くために、まずは教職員が互いの学校を出入りするなかで、児童の様子についての情報交換や情報共有を行う必要があるのではないか。またそうした中で、ワーキンググループを形成し、カリキュラム編成やどのような学校づくりを目指すのかといったこと等を検討する必要があるのではないかという意見が出された。

また、最低 1 年くらいは児童の交流を深めるために、音楽会や学年行事等を行う必要があるのではないか。また、統合後のケアも必要ということで、教員の加配によるケアや、地域・保護者・教育委員会のケアも必要ではないか。

次回の全体会でどのように報告していくという議論の中で、統合・分散分科会としてはまだ調整が必要なため、任意で分科会を開くか、もしくは情報共有を行い、次回の全体会までに詰めていきたいということで、終了した。

【委員長】

各分科会から報告がありましたが、各分科会の委員の皆さんから何か補足があればお願いします。

(なし)

次回の全体会に向けて、どのようにまとめていくかについて、事務局の方から考えがあればお願いしたいと思います。

【事務局】

本日の分科会では、それぞれの分科会ごとである程度のまとめに近い形で議論をしていたと思います。まずは、まとめた内容をできるだけ早く委員の皆さんに情報としてお

渡しし、お考えをいただく期間を取りたいと考えています。そして、ご意見を全体会の中
で出していただくわけですが、できるだけ中身を詳細にお伝えすることで、説明が省かれ
ることがあるかと思いますので、効率的に会議を行うためにもそのようにしたいと思いま
す。そして、全体会で検討する中で、どれが最善であるかといった方向付けがされていけ
ばいいと期待しております。

【委員】

事務局から話がありましたが、委員の皆さんから何かありますか。

(なし)

今回の日程について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

次回 3 月は年度末ということで、委員の皆様もお忙しいこともございますし、各分科会
まとめに要する時間も必要になりますので、回次の委員会は 4 月を予定しております。

日時が決まり次第通知いたしますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

各分科会のまとめが事前に手に入るわけですか。

【事務局】

はい。それぞれの分科会で使用した資料も含めまして、お渡ししたいと考えております。

【委員長】

そのように進めていきたいと思いますが、委員の皆さんで何かありますか。

【委員】

そのまとめ方っていうのは、分科会ごとに、出された案の中から 1 つにまとめて全体会に
出すのではなくて、このような意見やこのような意見が出された、というような形として
まとめるわけですね。

【事務局】

それぞれの分科会で、実現の可能性についても議論されていると思いますので、それを踏
まえた上で、他の分科会の委員さんがどのように受け取るかということがあると思います。
協議をしてみないと分からないことがありますので、どれか 1 つの案に集約することまで
話ができないと考えております。

【委員長】

各分科会で出された意見を全体会で委員の皆さんにお諮りする、ということだと思います。

【委員】

出された意見を羅列したものがまとめということでもいいわけですね。

【委員長】

そうです。

それで、他の分科会の委員さんから意見があれば出していただくということです。

このような進め方でよろしいでしょうか。何か委員の皆さんでありますか。

(なし)

他に何かありますか。

【委員】

現地存続分科会では、対案が示されたことでようやく噛み合った議論がしていけるのかなと感じました。岡谷区内で署名が集まっているとの話も出ましたが、そのような要望は大事なことです。ただ一方で、岡谷区だけの希望では、市としての方針にはなりにくいと思うので、やはり他の市民の支持をどれだけ取り付けられるかが現地存続にとっては一番のポイントになると思います。その思いが増々強くなりました。

また、統合・分散分科会で検討された内容は、現地存続にとっても関係があります。5～7年の間、一旦学校が閉じられることになりますので、統合・分散で生じることが手当てされなければ、現地存続もないと強く感じました。

【委員】

現地存続だけでなく、移転にも関係してきます。

【委員】

そうなりますね。

【委員長】

その他にありますか。

【委員】

この先を見通した時に、私が一番悲しい展開になるなと感じることは、あり方検討委員会である程度出した結論を、市は尊重すると言って下さってはいますが、どのように尊重してくれるのかが見えないことです。岡谷市の1つの学校が無くなるかどうかという大事な話をしているのにも関わらず、市長が1度も出てこないこと、話合われたことが市長にどのように伝わっているのかということ、また市長はどのようなお考えをお持ちなのかということ、それらが全然見えないので余計に不安になる。どんな結論が出るか分かりませんが、ここで出した結論もそれほど尊重されずに、市の結論として分散の方向に流れていくのではないかと。そうだとしたら、今まで話し合ってきたことが一体何だったのかと思うので、是非とも、次回は市長に出ていただきたいです。こんな大事な話合いに市長が関心を示さないことが悲しいので、是非市長にお願いしてください。

【事務局】

学校に関することは教育委員会の権限の範ちゅうで行っております。ただ岡谷市のことでありますので、当然市長もいっしょに考えております。ご理解をいただければと思います。

【委員長】

その辺りのことは、市と教育委員会の間で難しいということですよ。

【事務局】

市長が出てきて意見を述べる場ではないと思います。

【委員】

市長に意見は聞いて欲しいです。

【委員長】

市長に話をしているわけですよね。

【事務局】

当然、報告しておりますし、庁内的にもプロジェクトチームの中で検討しております。

【委員長】

よろしいでしょうか。

【委員】

これだけ長い間話合いをしているのに、尊重の一言だけ終わってしまうのは悲しいです。

ちょっとどうなのかなと思います。仕方がないことだと思いますが。

【委員長】

委員さんの意見を尊重しながら、今後まとめていくことになると思います。

次回が最終ではありませんので、そのようなことで進めてよろしいでしょうか。何か委員さんの方でありましたらお願いしたいと思います。

(なし)

なければ、本日の検討委員会を終了します。

ありがとうございました。

閉会 午後9時20分